

## 野菜の需給・価格動向レポート(平成25年4月15日版)

## 1 主要野菜の生産出荷状況

種類	3月の価格動向			4月の価格動向			生育及び価格の4月の見通し	
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格		指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額		(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格			
	中旬	下旬	上旬					
葉 茎 菜	キャベツ	88.05	83	76	88.05	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：16,700t (100)</li> <li>主産地：神奈川 (42)、愛知 (42)、千葉 (11)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川産は、生育が回復して順調な出荷となっており、今後も順調な出荷の見込み。愛知産は、出荷のピークを過ぎ出荷量が減少傾向となっているものの、順調な生育で、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		83.73	79	69	83.73	82	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：4,700t (106)</li> <li>主産地：愛知 (50)、大阪 (16)、兵庫 (15)、三重 (9)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、春ものの出荷となっており、冬場の影響による生育遅れも回復して、順調な出荷となる見込み。茨城産は、秋冬ものが出荷が終了し、今後は春ものの出荷となるが、順調な生育で4月15日の週から出荷開始の見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
	ねぎ	229.99	212	190	264.1	223	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量：3,760t (100)</li> <li>主産地：千葉 (47)、埼玉 (25)、茨城 (11)、輸入 (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、春ものの出荷となっており、冬場の影響による生育遅れも回復して、順調な出荷となる見込み。茨城産は、秋冬ものが出荷が終了し、今後は春ものの出荷となるが、順調な生育で4月15日の週から出荷開始の見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
		309.39	260	229	334.73	230	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込数量：220t (108)</li> <li>主産地：徳島 (27)、三重 (17)、香川 (15)、奈良 (14)、大阪 (11)、高知 (10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、順調な生育となり、今後も平年並みの出荷の見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
	はくさい	61.12	51	57	67.05	52	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：6,055t (100)</li> <li>主産地：茨城 (84)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、春ものの出荷となり、気温の上昇と日照時間にも恵まれたことから、玉肥大も順調で、ピークを迎えて月末までは潤沢な出荷となる見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
		68.7	51	49	77.96	49	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：3,400t (114)</li> <li>主産地：長崎 (32)、熊本 (25)、茨城 (23)、宮崎 (13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬産は、ハウスものが中心の出荷となっており、4月6~7日の暴風雨の影響もなく平年並みの出荷の見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。</li> <li>千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。</li> </ul>
	ほうれんそう	307.66	289	321	376.1	447	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,245t (100)</li> <li>主産地：群馬 (34)、茨城 (22)、埼玉 (20)、千葉 (15)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>群馬産は、ハウスものが中心の出荷となっており、4月6~7日の暴風雨の影響もなく平年並みの出荷の見込み。茨城産は、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。</li> <li>千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。</li> </ul>
		341.25	282	312	396.89	412	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：560t (96)</li> <li>主産地：徳島 (36)、岐阜 (24)、福岡 (22)、群馬 (6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、最近の曇天の影響により、一時より落ち着いた出荷量となっている。大玉傾向の出荷となっているものの、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、3月の好天の影響を受けて大玉傾向で、平年より多めの出荷となっているものの、今後は、出荷量が落ちて平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
	レタス	199.64	133	106	156.23	148	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：7,850t (105)</li> <li>主産地：茨城 (62)、兵庫 (17)、香川 (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、最近の曇天の影響により、一時より落ち着いた出荷量となっている。大玉傾向の出荷となっているものの、平年並みの出荷の見込み。兵庫産は、3月の好天の影響を受けて大玉傾向で、平年より多めの出荷となっているものの、今後は、出荷量が落ちて平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		203.61	144	132	165	159	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,450t (113)</li> <li>主産地：兵庫 (55)、茨城 (20)、徳島 (16)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀産は、気温の上昇により生育が順調で、少なかった前年を上回る出荷となっており、今後は本格的な出荷の時期を迎える見込み。北海道産は、平年を上回る出荷となっているものの、出荷の終盤を迎える見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
	たまねぎ	76.15	90	89	76.15	80	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：12,370t (110)</li> <li>主産地：佐賀 (44)、北海道 (37)、輸入 (7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀産は、気温の上昇により生育が順調で、少なかった前年を上回る出荷となっており、今後は本格的な出荷の時期を迎える見込み。北海道産は、平年を上回る出荷となっているものの、出荷の終盤を迎える見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		76.15	88	83	76.15	77	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：5,100t (120)</li> <li>主産地：佐賀 (34)、北海道 (24)、長崎 (24)、兵庫 (10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、最近の曇雨天の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は月末のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。群馬産も、少なめの出荷となっているものの、下旬から5月上旬のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>埼玉産及び群馬産の出荷が増加すると見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
果 菜	きゅうり	253.95	219	204	253.95	295	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：6,960t (102)</li> <li>主産地：埼玉 (29)、群馬 (22)、千葉 (13)、茨城 (12)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉産は、最近の曇雨天の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は月末のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。群馬産も、少なめの出荷となっているものの、下旬から5月上旬のピークに向けて、出荷量が増加する見込み。千葉産は、平年並みの出荷の見込み。</li> <li>埼玉産及び群馬産の出荷が増加すると見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		242.77	201	199	242.77	253	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,550t (106)</li> <li>主産地：宮崎 (46)、高知 (16)、徳島 (15)、群馬 (11)、愛媛 (6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木産は、小玉傾向であるものの、着果状況が良好で平年並みの出荷となっている。今後も平年並みの出荷となる見込み。熊本産は、最近の気温の低下によりやや少なめの出荷となっているものの、今後は日照時間が多くなることから、月末にかけて出荷量が増加する見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれるもの、需要が堅調なことから、価格は、平年を上回って推移する見込み。</li> </ul>
	トマト	339.78	435	390	339.78	431	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：6,530t (110)</li> <li>主産地：栃木 (25)、熊本 (24)、愛知 (14)、埼玉 (6)、千葉 (6)、茨城 (5)、群馬 (5)、福岡 (4)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>栃木産は、小玉傾向であるものの、着果状況が良好で平年並みの出荷となっている。今後も平年並みの出荷となる見込み。熊本産は、最近の気温の低下によりやや少なめの出荷となっているものの、今後は日照時間が多くなることから、月末にかけて出荷量が増加する見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれるもの、需要が堅調なことから、価格は、平年を上回って推移する見込み。</li> </ul>
		321.78	408	391	321.78	417	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：1,200t (108)</li> <li>主産地：熊本 (59)、福岡 (18)、愛知 (8)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知産は、好天と気温の上昇により着果も良く、平年を上回る出荷となり、5月のピークに向け出荷量が増加する見込み。福岡産は、3月末からの低温の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は日照時間が多くなることから、出荷量が回復する見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
	なす	347.77	335	321	347.77	339	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：3,420t (103)</li> <li>主産地：高知 (49)、福岡 (22)、佐賀 (8)、群馬 (5)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高知産は、好天と気温の上昇により着果も良く、平年を上回る出荷となり、5月のピークに向け出荷量が増加する見込み。福岡産は、3月末からの低温の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は日照時間が多くなることから、出荷量が回復する見込み。</li> <li>順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。</li> </ul>
		330.95	324	309	330.95	324	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：780t (105)</li> <li>主産地：高知 (34)、熊本 (22)、福岡 (17)、大阪 (11)、岡山 (10)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、最近の曇天の影響により、やや少なめの出荷量となっていたものの、樹勢が良いので、月末にかけて増加する見込み。宮崎産は、生育が順調で平年を上回る出荷となっているものの、今後は出荷量が落ちて平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>茨城産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
	ピーマン	551.24	543	382	308.36	398	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,030t (105)</li> <li>主産地：茨城 (55)、宮崎 (19)、高知 (18)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>茨城産は、最近の曇天の影響により、やや少なめの出荷量となっていたものの、樹勢が良いので、月末にかけて増加する見込み。宮崎産は、生育が順調で平年を上回る出荷となっているものの、今後は出荷量が落ちて平年並みの出荷となる見込み。</li> <li>茨城産の出荷量の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		513.91	541	398	283.1	311	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：400t (116)</li> <li>主産地：宮崎 (59)、高知 (25)、鹿児島 (8)、和歌山 (6)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、4月6~7日の暴風雨の影響もなく順調な生育で、平年を上回る出荷となり、今後も平年を上回る出荷となる見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
根 菜	だいこん	79.03	74	57	86.59	68	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：10,925t (105)</li> <li>主産地：千葉 (81)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、4月6~7日の暴風雨の影響もなく順調な生育で、平年を上回る出荷となり、今後も平年を上回る出荷となる見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
		80.47	71	57	94.24	54	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：3,100t (114)</li> <li>主産地：長崎 (37)、鹿児島 (27)、香川 (19)、徳島 (7)、福岡 (7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>千葉産は、4月6~7日の暴風雨の影響もなく順調な生育で、平年を上回る出荷となり、今後も平年を上回る出荷となる見込み。</li> <li>潤沢な出荷が見込まれることから、価格は、平年を下回って推移する見込み。</li> </ul>
	にんじん	101.05	146	157	156.99	184	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：6,865t (105)</li> <li>主産地：徳島 (67)、輸入 (13)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島産は、生育の遅れも回復し収穫作業も順調に進み、少なかった前年を上回る出荷となり、今後も安定した出荷が続く見込み。</li> <li>徳島産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>
		104.73	141	165	148.36	184	<ul style="list-style-type: none"> <li>入荷見込量：2,400t (107)</li> <li>主産地：徳島 (79)、長崎 (8)、鹿児島 (7)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島産は、生育の遅れも回復し収穫作業も順調に進み、少なかった前年を上回る出荷となり、今後も安定した出荷が続く見込み。</li> <li>徳島産の出荷が順調と見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。</li> </ul>

種類	3月の価格動向		4月の価格動向		生育及び価格の4月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価額		(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格				
		中旬	下旬					
いも	さといも	217.95	191	182	-	165	—	〈入荷量が少ないため、見通しは省略〉
	さといも	219.65	93	75	-	116	—	
	ばれいしょ	88.17	87	83	131.8	87	・入荷見込量：9,120t (105) ・主産地：北海道 (58)、鹿児島 (39)	
	ばれいしょ	88.17	89	80	131.8	86	・入荷見込量：5,200t (107) ・主産地：鹿児島 (53)、北海道 (45)	

1) 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)。

2) 別々平均販売価額の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景色は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)。

3) 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック。

4) 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比。

5) 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。

6) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの。

## 2 野菜の需要動向

家計調査によると、2月の1人当たりの生鮮野菜の購入数量は、4,533gで前年比101%、購入金額は、1,641円で同95%となり、購入数量は前年並み、購入金額は前年をやや下回った。また、小売物価統計によると、3月のキャベツの小売価格は、179円で過去5か年平均比87%、レタスは、424円で同83%となり、キャベツは過去5か年平均をかなり下回り、レタスは大幅に下回った。	生鮮野菜の購入数量及び購入金額(1人当たりの購入数量と購入金額)						主要野菜の月別小売価格(東京都区部) (単位：円/k g)		
	年	過去5か年平均	平成24年		平成25年				
		購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	購入金額(円)	購入数量(g)	前年比	購入金額(円)	前年比
1月	4,271	1,557	4,189	1,634	4,194	100	1,656	101	
2月	4,447	1,610	4,499	1,735	4,533	101	1,641	95	
3月	4,797	1,765	4,584	1,851	0	0	0	0	
4月	4,723	1,834	4,620	1,904	0	0	0	0	
5月	5,055	1,905	4,945	1,948	0	0	0	0	
6月	5,048	1,881	5,103	1,875	0	0	0	0	
7月	4,421	1,691	4,386	1,675	0	0	0	0	
8月	4,318	1,689	4,245	1,618	0	0	0	0	
9月	4,839	1,783	4,916	1,703	0	0	0	0	
10月	5,280	1,840	5,242	1,761	0	0	0	0	
11月	5,030	1,630	5,039	1,602	0	0	0	0	
12月	5,140	1,837	5,169	1,888	0	0	0	0	

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」・過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

	キャベツ	レタス				
	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)	過去5か年平均	平成25年	5か年比(%)
1月	187	203	109	579	904	156
2月	203	204	100	555	722	130
3月	207	179	87	512	424	83
4月	248	0	466	0	0	0
5月	175	0	369	0	0	0
6月	140	0	338	0	0	0
7月	149	0	308	0	0	0
8月	138	0	414	0	0	0
9月	142	0	526	0	0	0
10月	150	0	467	0	0	0
11月	155	0	385	0	0	0
12月	148	0	495	0	0	0

資料: 総務省「小売物価統計調査報告」

1) 過去5か年平均は、平成20~24年の平均。

2) 平成25年3月の値は、3月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

3月の野菜の輸入を植物防疫統計で見る と、たまねぎは、前年比61%(中国は同72%、アメリカは同18%)の2万2千トンとなり、にんじんは、同71%(中国は同72%、台湾は同73%)の9千トンとなり、ねぎは、同75%(中国は同74%)の4千トンとなりた。たまねぎ、にんじん及びねぎとともに、前年を大幅に下回った。	野菜の輸入数量						主な野菜の輸入動向 (単位: トン、%)	
	区分	平成23年		平成24年		平成25年1~2月		
		前年比	(単位: トン、%)	前年比	(単位: トン、%)	前年同期比	(単位: トン、%)	
生鮮野菜	915,091	112	946,931	103	137,940	77	71,720	72
加工野菜	1,803,510	107	1,909,671	106	296,441	103	126,512	103
野菜合計	2,718,600	109	2,856,601	105	434,381	93	198,232	89
うち中国産野菜合計	1,409,984	110	1,458,418	103	220,764	95	98,357	102
中国産シェア	52		51		51		50	

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

品目	輸入先	平成24年3月(A)	平成25年3月(B)	(B)/(A)
たまねぎ	合計	35,756	21,892	61
	中国	22,038	15,797	72
	アメリカ	5,030	892	18
にんじん	合計	12,250	8,712	71
	中国	8,894	6,410	72
	台湾	1,744	1,273	73
ねぎ	合計	5,118	3,853	75
	中国	5,116	3,777	74

資料: 農林水産省「植物防疫統計」。平成25年3月は、速報値である。

## 4 トピック 一加工・業務用野菜の最近の動向

主要野菜の加工・業務用需要は、増加傾向で推移し、平成22年の加工・業務用需要は56%となり、野菜需要の過半を占めている。その内訳を見ると、カット、冷凍、漬物等に使われる加工原料
--